

令和6年度 青山中学校グランドデザイン

学校教育目標

【自立】自ら考え判断し行動できる人 【共生】思いやりの心もち協働できる人 【創造】深く考え創造できる人

令和6年度重点目標 「誰一人取り残すことなく主体的学び続ける生徒の育成」

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| ①基礎学力・活用力の習得※ | ⑥健康な体づくり※ |
| ②国際理解教育の充実※◎ | ⑦教職員の働き方改革の推進※ |
| ③ICTを活用した学びの充実※◎ | ⑧深い生徒理解に基づいた生活指導と学級経営の充実 |
| ④いじめの防止と人権教育・道徳教育の充実※ | ⑨特別支援教育の充実 |
| ⑤環境教育の充実※ | ⑩健康・安全・食に関する指導の充実 |
- ※ 令和6年度港区重点事業 ◎最重点事業

- ### 思いやりの心もち協働できる人(豊かな心)
- ①いじめの防止対策の推進※
 - ②道徳教育の充実
 - ③生活指導の充実
 - ④特別活動の充実
 - ⑤特別支援教育の充実
 - ⑥学校2020レガシー

- ### 深く考え創造できる人(健康・体力)
- ①国際理解教育の充実
 - ②健康な体づくり※(食育含む)
 - ③環境教育の充実※
 - ④総合的な学習の時間の充実
 - ⑤進路・キャリア教育の充実
 - ⑥安全教育の推進

自ら考え判断し行動できる人(確かな学力)

- | 何ができるようになるか
○育成を目指す資質・能力 | 何が身についたか
○学習評価を通じた学習指導の改善 |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> ①言葉や情報を使いこなす能力
・様々な場面で言葉や情報を使いこなす・信頼できる知識や情報を収集し有効に活用する ②自分をコントロールする能力
・感情をコントロールする・見通しを迫って計画的に行動する・ルールを踏まえ建設的に主張する ③多様な集団の中で協働する能力
・他者の立場で物事を考える・目標を達成するために他者と協働する・意見の対立や理解の相違を解決する ④現代的な諸課題に対応する能力
・健康・安全・食に関する課題に対応する資質・能力・心の健康の保持増進に関する力 | <ol style="list-style-type: none"> ①単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面を工夫し、学習の課程や成果を評価し、指導の改善や学習意欲の向上を図る。
指導と評価の一体化 ②パフォーマンス評価等、多面的・多角的な評価の実践 ③相互評価や自己評価の活用 ④ポートフォリオなど形成的な評価の活用 ⑤キャリア・パスポートの活用 |

- | 何を学ぶか
○教育課程の編成 | どのように学ぶか
○教育課程の実施 |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> ①基礎学力・活用力の習得※(言語能力・情報活用能力(情報モラル含)・課題発見・解決能力) ②「生き方について考える」道徳教育 ③豊かな心を育てる特別活動 ④探究活動を取り入れた総合的な学習の時間 ⑤「ボランティアマインド」「障害者理解」を学ぶ学校2020レガシー教育 ⑥持続可能な社会の創り手を育てる環境教育 ⑦国際人としての資質を高める国際理解教育 ⑧個々の能力を育てる特別支援教育 ⑨現代的な課題(健康・安全・食に関する力、心の健康の保持増進に関する力)に対応する資質・能力 | <ol style="list-style-type: none"> ①ICTを活用した学びの充実※(個別最適な学び・協働的な学び) ②「考え議論する道徳」授業の実践 ③自主的、主体的な取り組みを行う学級活動や学校行事の実践 ④教科等横断的な視点から学ぶ総合的な学習の時間 ⑤外部人材を活用した学校2020レガシー教育 ⑥SDGsに取り組む環境教育及びビオトープの活用 ⑦英語学習を中心としたコミュニケーション能力の育成、大使館交流や各教科における異文化理解・伝統と文化の尊重 ⑧ICT等を活用した個に応じた指導の徹底と交流事業の充実 ⑨教科横断的な視点から学ぶ健康・安全・食に関する指導の充実 |

- | 子どもの実態 | 子どもの発達をどのように支援するか
○配慮を必要とする子どもへの指導 | 目指す子どもの姿 |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・素直で明るく活発であるが、協調性や自ら行動する意欲が乏しく、物事を公的な視点から見る能力欠ける。 ・地域の小学校から単学級に在籍の生徒多い。 ・指示を素直に受け止めることができる。 ・進路選択に熱心な生徒が多い。 | <ol style="list-style-type: none"> ①確かな生徒理解に基づいた信頼関係を基盤とした学級経営の充実 ②集団指導と個別指導を充実させた生活指導 ③学校の教育活動全体を通じた進路指導・キャリア教育の充実 ④web h-QUの活用、授業UD化等、個に応じた指導の充実 ⑤個別の教育支援計画、指導計画の作成と活用した特別支援教育の充実 ⑥きめ細やかな個に応じた対応を充実させた不登校生徒対応。(つばさ教室の連携、SC・SSW・関係諸機関との連携) | <ul style="list-style-type: none"> ・向上心をもって真剣に学習する生徒 ・場に応じた言動ができる生徒 ・思いやりの心もち貢献できる生徒 |

- ### 実施するために何が必要か ○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働
- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> ①教員の働き方改革の推進※ ②教員の資質・能力の向上 ③校内研究の推進 ④学校評価の充実 ⑤学校運営協議会・地域コーディネーターとの連携 ⑥青山アカデミーである青山小学校、青南小学校、青南幼稚園との連携 | <ol style="list-style-type: none"> ⑦家庭学習の習慣化(タブレットの活用) ⑧都立青山特別支援学校との交流 ⑨都立日比谷高校、都立青山高校との連携 ⑩カリキュラム・マネジメントの実現(外部人材の活用) ⑪学校経営支援員、スクールサポートスタッフの活用 ⑫全部活動に部活動指導員導入と外部指導員の活用 |
|--|--|

- ### 安心・安全
- ①いじめの未然防止、早期発見、早期解決のため「いじめ防止対策協議会」を設置し、組織的対応を推進する。
 - ②危機管理の徹底
 - ③SC/SSWとの連携等、教育相談の充実
 - ④地域と連携した防災訓練の実施

- ### 開かれた学校づくり
- ①ホームページ・Xの充実
 - ②学校だより、学年だより、保健だより、給食だより、図書室だよりなどの広報活動の充実
 - ③学校公開における参観者の増加
 - ④青山地区委員会との連携・行事への参加